

施策 1 1 4 感染症の予防と体制の整備

基本事業 1 1 4 0 1 感染症予防普及啓発の推進 (主担当 健康増進課)

医療機関の協力を得て感染症の患者発生状況、病原体検索結果等により流行状況を早期に把握し、三重県感染症情報センターから予防、診断等に役立つ情報を提供・公開しています。

1 感染症発生動向調査事業

管内医療機関医師や医療機関定点から提供される感染症の発生状況をコンピュータオンラインシステムにより三重県感染症情報センターへ報告します。

同センターで集約された感染症に関する情報は、インターネットを利用したコンピュータシステムにより迅速に分析、提供、公開することで感染症のまん延を未然に防ぎます。

- (1) インフルエンザ (内科) 定点・・・4ヶ所
- (2) インフルエンザ (小児科) 定点・・・7ヶ所
- (3) 小児科定点・・・・・・・・・・7ヶ所
- (4) 眼科定点・・・・・・・・・・2ヶ所
- (5) STD定点・・・・・・・・・・2ヶ所
- (6) 基幹定点・・・・・・・・・・1ヶ所

2 発生動向病原体検査

感染症の患者情報と共に病原体に関する情報を一元的に収集・分析、提供、公開するシステムを構築し総合的な感染症対策に資するため、有効かつ的確な検査事業を実施します。

実施件数 (人数)

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

四類感染症					
Q熱	SFTS	日本紅斑熱	デング熱	ライム病	レプトスピラ症
1	8	56	2	2	4

五類感染症 (全数)			五類感染症 (定点)				
脳炎	侵襲性肺炎球菌感染症	麻しん風しん	インフルエンザ	感染性胃腸炎	手足口病	百日咳	ヘルパンギーナ
3	1	3	20	95	26	5	17

五類感染症 (定点)							
RSウイルス感染症	無菌性髄膜炎	細菌性髄膜炎	水痘	咽頭結膜熱	突発性発疹	マイコプラズマ肺炎	不明発疹熱
4	4	1	2	2	1	11	7

通知に基づくその他の検査 エンテロウイルス D68
17

マダニ由来感染症検査実施数再掲（件数）

	急性期		回復期
	血液		血液
	PCR	抗体	抗体
日本紅斑熱	48 (6)	48 (6)	18 (9) 29 (21)
SFTS	8 (2)	/	/
ライム病	2 (0)		
ツツガムシ病	48 (0)		

* 1人の患者から種々の検体提出がある為、検査実施人数とは一致しない。

* () 内は検査検体陽性数の為、発生届け人数と一致しない。

基本事業 11402 感染症危機管理体制の整備 (主担当 健康増進課)

平常時から感染症の正しい知識の普及啓発を実施し、伊勢志摩地域における感染症等の健康危機発生を予防するとともに、拡大防止のため迅速かつ的確な対策を総合的に推進してまん延防止に努めています。

1 感染症発生状況 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

一類感染症：0 件

二類感染症：0 件 (結核を除く)

三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 10 件 (保菌者を含む)

四類感染症：重症熱性血小板減少症候群 2 件、日本紅斑熱 25 件、レジオネラ症 2 件、チクングニア熱 2 件

五類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 11 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 件、後天性免疫不全症候群 2 件、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 件、侵襲性肺炎球菌感染症 10 件、播種性クリプトコックス症 3 件、風しん 3 件

○ 発生状況の推移 (三類感染症) (年度)

区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	0	0
腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腸管出血性 大腸菌感染症	2	7	14	7	3	5	12	7	10
合 計	2	7	14	7	3	5	13	7	10

2 感染症発生対応

○ 三類感染症発生対応

疫学調査 実施数	家族に対する 健康診断実施数	接触者に対する 健康診断実施数	本人に対する 陰性化確認検査実施数
9	17	8	21

○ その他感染症の発生対応 (疫学調査)

発生報告受理日	調査実施日	対象感染症
27.4.17	27.4.17	風しん
27.6.8	27.6.8	重症熱性血小板減少症候群
27.6.30	27.7.1	レジオネラ症
27.8.3	27.8.5	重症熱性血小板減少症候群
27.11.30	27.11.30	風しん
28.3.5	28.3.6	レジオネラ症
28.3.10	28.3.10	レジオネラ症

○ マダニ由来感染症研修会

実施日	出席者数	内 容
27.10.17	30 人	<ul style="list-style-type: none"> ・マダニ対策、今できる事 ・マダニの生態と対処方法 ・質疑応答

- 社会福祉施設等における感染症等集団発生時に係る報告対応及び医療機関における院内での感染症集団感染事例報告対応

初発日	施設所在地	対象感染症	調査年月日	終息日
27. 4. 15	伊勢市	サポウイルス	27. 4. 20	27. 5. 7
27. 10. 30	鳥羽市	インフルエンザ A型	27. 11. 4・5	27. 11. 17
27. 11. 4	多気町	風しん	27. 11. 30	27. 12. 15
27. 11. 8	志摩市	インフルエンザ A型	27. 11. 21	27. 12. 4
28. 1. 16	伊勢市	ノロウイルス	28. 1. 22	28. 2. 3
28. 1. 27	伊勢市	ノロウイルス	28. 2. 3	28. 2. 25
28. 3. 2	鳥羽市	インフルエンザ A・B	28. 3. 7	28. 3. 23
28. 3. 8	志摩市	インフルエンザ A型	28. 3. 8	28. 3. 14

3 検疫実施状況

検疫通報件数 0件

4 行政検査実施件数

- 腸管出血性大腸菌感染症

初発日	施設所在地	菌検索	ベロ毒素確認
27. 8. 25	玉城町	1	1

- 感染性胃腸炎

初発日	施設所在地	ウイルス検査内容				遺伝子解析
		ノロ	ロタ	アデノ	サポ	
27. 4. 15	伊勢市	3	3	3	3	3
28. 1. 16	伊勢市	2	2	2	0	2
28. 1. 28	伊勢市	4	4	4	0	3

5 感染症予防啓発の実施(人)

実施日	対象者所属	出席数	内容
27. 10. 26	JA 伊勢介護センター 非常勤職員	25	感染症～原因と予防・対策方法～
27. 10. 29	いせ市民活動センター 登録者	30	ノロウイルス等感染症対応
27. 11. 16	伊勢度会彩幸 入所者	32	インフルエンザ(～原因と予防・対策方法～)
28. 1. 28	志摩市はまゆう大学 学生	17	感染症(～原因と予防・対策方法～)
28. 2. 29	阿児ケアサービスセンター 職員	80	高齢者・子どもの感染症と予防

6 伊勢地域感染症対策会議の開催

平成28年5月に志摩市において開催される伊勢志摩サミットに向け、感染症発生の初期段階から状況把握・対策を行う事で地域における蔓延を未然に防ぐ事を目的とする感染症監視体制の強化について共有する会議を開催しました。

また、終息宣言があった後も西アフリカで散発的に発生を繰り返しているエボラ出血熱発生対応に係る搬送訓練の実際について紹介しました。

- 日 時：平成28年3月3日（木） 19：00～
- 場 所：三重県志摩庁舎 2階 大会議室
- 内 容：ア. 伊勢志摩サミットに係る感染症の監視体制の強化について
イ. エボラ出血熱患者（疑似症患者）搬送の実際について
- 出席者：ア. 病院関係者 13名 イ. 医師会会員 23名
ウ. 薬剤師会会員 2名 エ. 消防本部関係者 6名
オ. 市町担当者 5名 カ. 県庁・事務局 8名

7 伊勢志摩サミット対策

平成28年5月に志摩市において開催される伊勢志摩サミットに向け、関係職員及び管内の宿泊施設（ホテル・旅館・簡易宿舎）での、感染症の発生及び蔓延を防ぐ目的で、チラシの配布や研修会の実施・感染症対策チェックを実施しました。

- 日 時：平成28年1月中旬～2月上旬
- 対 象：管内宿泊施設（ホテル・旅館・簡易宿舎） 265施設
- 内 容：チラシの配布「感染症の拡大の防止のために」～事業者の皆様へ
- 日 時：2月中旬～3月下旬
- 対 象：館内宿泊施設（ホテル・旅館） 15施設
- 内 容：感染症啓発と感染症対策チェック
 - ・サミット期間中に実施する感染症発生動向調査体制について
 - ・インフルエンザについて
 - ・麻しん・風しんについて
 - ・蚊由来感染症（デング熱・チクングニア熱・ジカ熱）について
 - ・マダニ由来感染症（日本紅斑熱・重症熱性血小板減少症候群）について
 - ・感染性胃腸炎（ノロウイルス）について
 - ・感染症の拡大防止のために（事業者の皆様へ）について
 - ・感染症対策チェック
- 日 時：平成28年3月10日
- 対 象：管内飲食業、旅館業の業者 50施設
- 内 容：感染症セミナー
 - ・感染性胃腸炎（ノロウイルス）について
 - ・チラシの配布「感染症の拡大の防止のために」～事業者の皆様へ

基本事業 1 1 4 0 3 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当 健康増進課)

結核患者への精密検査及び家族・接触者への健康診断を実施し、まん延の防止を図ります。

性感染症まん延防止のため、知識の啓発を図ると共に相談や検査を実施します。

1 結核予防対策

結核の予防及び結核患者に対する適正な医療の普及を図るとともに、接触者健診に重点を置き患者管理の徹底を図りました。

新たに発生する結核患者に占める高齢者の割合は年々増加傾向にあることから、高齢者に関わる各機関に対して啓発活動を強化し、早期発見・早期治療及び服薬支援体制整備に繋げました。

また、学校保健においては教育委員会と連携を図り、集団感染の予防対策に努めました。

(1) 定期健康診断実施状況

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

区分	定 期							計	
	事業者	学 校 長			施設 の長	市 町 長			
		高校	大学	その他		乳幼児	その他		
BCG接種者数							1,533	1,533	
間接撮影者数	1,122	1,901	0	32	413		3,178	6,646	
直接撮影者数	7,754	369	823	73	1,390		11,922	22,331	
喀 痰 検 査	0	0	0	0	0		0	0	
被 発 見 者 数	結核患者	0	0	0	0	1		0	1
	結核発病のお それがあると 診断された者	0	0	0	0	0		0	0

(2) 健康診断及び精密検査実施状況

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

区 分	受 診 者 数	ツ 反 応 検 査	B C G	直 接 撮 影	喀 痰 検 査	Q F T 検 査	結 果	
							要 治 療	要 注 意
健康診断 (家族・接触者)	274	0	0	217	0	60	1	2
精密検査 (患者)	52	0	0	52	0	0	0	0
計	326	0	0	269	0	60	1	2

(3) 結核登録患者状況

区分 市町名	登録数	活動性	新登録数	人口	有病率	罹患率
伊勢市	22	5	12	127,868	3.9	9.4
鳥羽市	8	3	3	19,455	15.4	15.4
志摩市	21	6	8	50,360	11.9	15.9
玉城町	1	0	1	15,439	0	6.5
度会町	2	1	1	8,312	12.0	12.0
大紀町	3	0	0	8,942	0	0
南伊勢町	3	1	1	12,786	7.8	7.8
管内合計	60	16	26	243,162	6.6	10.7

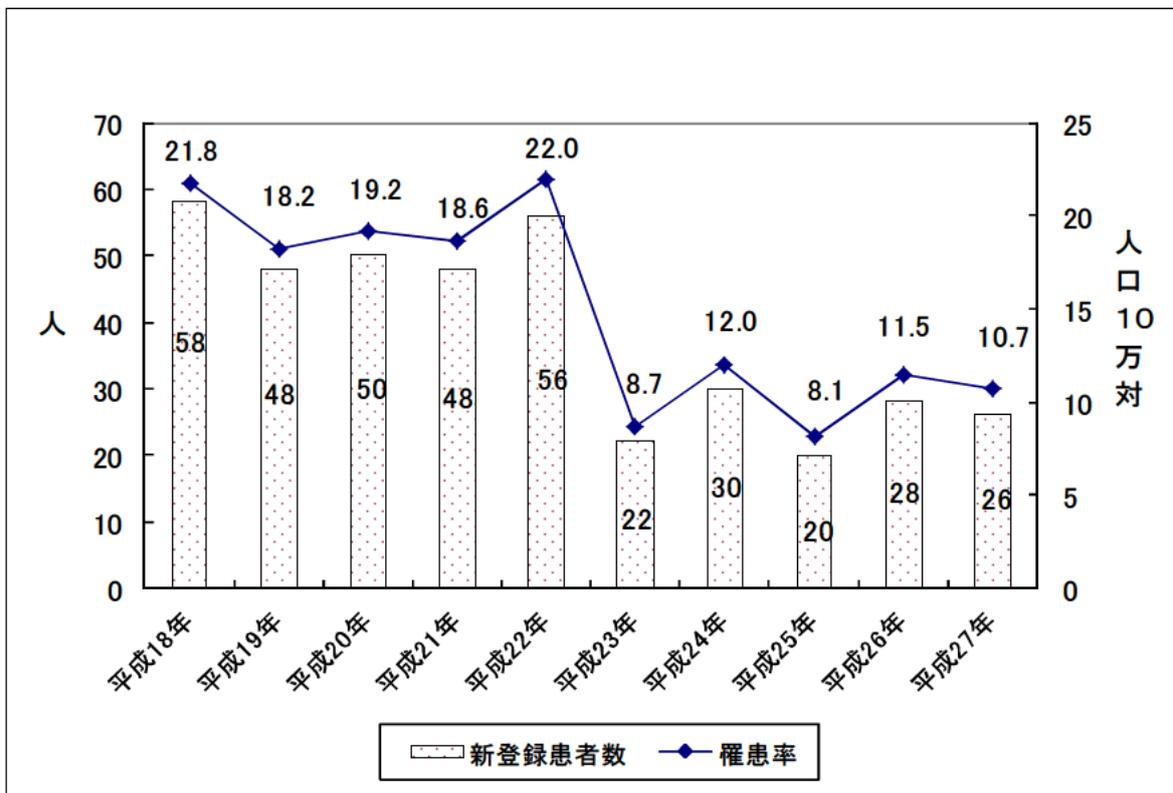
(注) 人口は平成 27 年 10 月 1 日現在。

有病率：活動性全結核患者数／人口×10 万人

罹患率：新規登録結核患者数*／人口×10 万人 *潜在性結核感染症除く

(4) 結核に関する統計資料

ア 新登録患者数と罹患率の年次推移



イ 年齢階層別新登録患者数の推移

	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
30歳未満	2	2	3	5	1	3	3	1	1	0
30～60歳 未満	7	6	14	6	9	2	3	0	4	2
60歳以上	49	40	33	37	46	17	24	19	23	24

(5) 学校保健との連携

学校保健では、結核患者の早期発見及び集団感染の予防のため、定期健康診断を実施しています。保健所は公衆衛生の専門機関として、教育委員会や保健所感染症診査協議会の専門医と協力し、結核患者に関する情報の整理や教育委員会主催の結核対策委員会運営にあたり、事務局への助言・指導を実施しました。

(6) 平成27年度結核対策特別促進事業

患者の高齢化と服薬環境の多様化に伴い、医療機関や福祉施設等地域の関係機関との連携を強化した個別の服薬支援が重要であることから、入院中から地域生活に向けた服薬支援の体制整備や支援者拡大を図り、患者の治療完遂を目指しました。

- ① 結核病床を有する病院とのDOTSカンファレンス
参加者：医師、看護師、ソーシャルワーカー等
実施回数：12回（伊勢赤十字病院）、1回（三重中央医療センター）
内容：入院中及び退院後の患者についての事例検討、情報交換
- ② 個別の服薬支援
訪問延べ60件、郵送延べ2件、電話延べ32件、
所内面接延べ13件、職場訪問延べ7件
- ③ 結核の知識普及・啓発
研修会の実施：
高齢者介護施設 6施設 受講者数241名
保健所ホームページに掲載：
結核予防に関する知識・情報について

※「DOTS」とは、Directly Observed Treatment, Short-course（直接服薬確認療法）のことで、WHOの推奨する患者の服薬を医療従事者等の第三者が確認する治療法をいいます。日本では平成12年に日本版21世紀型DOTS戦略として、必要に応じてDOT（Directly Observed Therapy：直接管理下治療）も用いる包括的な服薬支援体制を推奨しています。

2 エイズ相談・検査及び普及啓発事業

エイズ対策として、性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止をはかるため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療の充実、相談、指導など総合的に事業を展開しました。

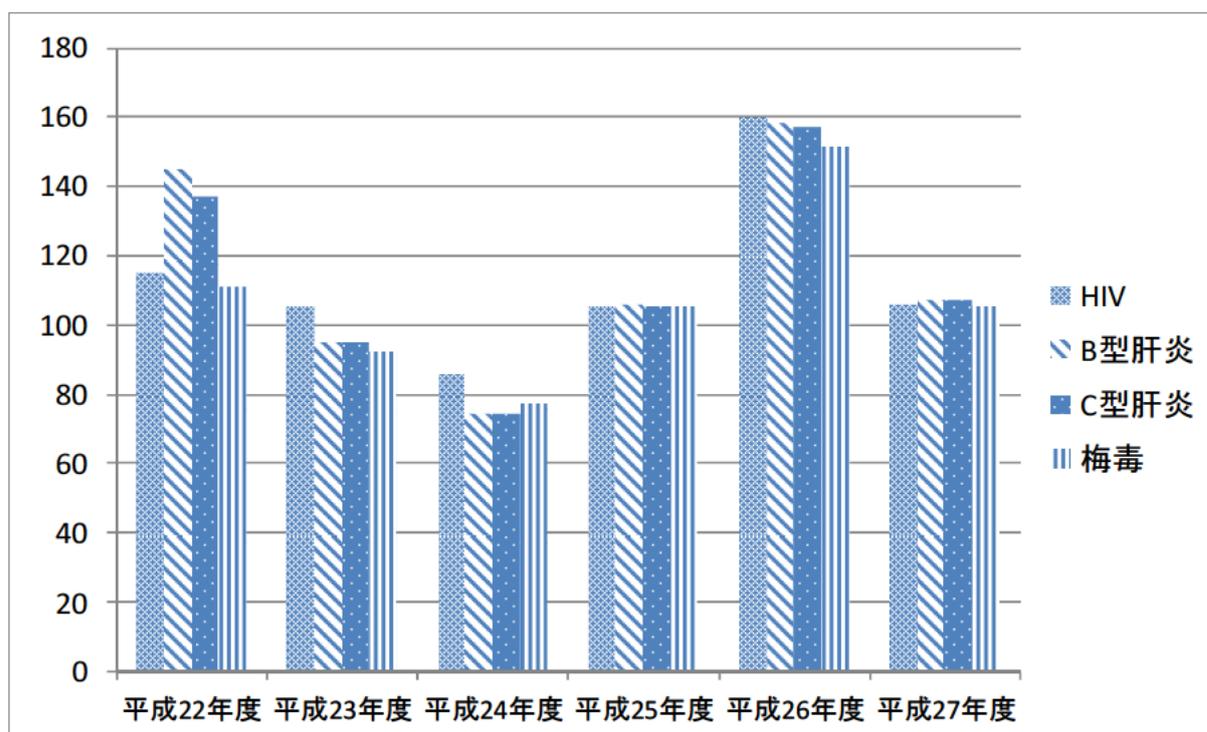
- (1) エイズに関する正しい知識の普及啓発を図るとともに相談及び抗体検査を実施しました。

平成27年4月1日～平成28年3月31日

相 談 件 数					検 査 件 数	
電 話		来 所		合 計	スクリーニング 検査	確認検査
男	女	男	女			
18 (0)	5 (0)	8 (0)	0 (0)	31 (0)	106 (24)	1 (0)

() 内は夜間実施分(再掲)

○特定感染症検査数の推移



(2) エイズ予防、患者及びH I V感染者への偏見の除去、さらに共生社会への構築を図るための普及啓発を実施しました。

- H I V検査時に相談者にアンケート調査を実施し、H I Vに関する知識、理解度を把握しました。
- 世界エイズデーキャンペーン実施状況

実施日	対象者	内 容
平成 27 年 10 月 31 日	学生と地域住民	エイズ予防に関する呼びかけと啓発用ティッシュ 450 部、パンフレット 450 部の配布
平成 27 年 12 月 1 日	近鉄宇治山田駅利用者	エイズ予防に関する呼びかけと啓発用ティッシュ 900 部の配布
平成 27 年 11 月 24 日～ 11 月 29 日	地域住民	ミタス伊勢にて、啓発用ティッシュ 60 部とパンフレットを設置し配布。
平成 27 年 11 月 25 日～ 12 月 1 日	職員、地域住民等	伊勢庁舎ロビーにて、啓発用ティッシュ 90 部とパンフレットを設置し配布。

3 特定感染症検査

(1) 梅毒等検査状況

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、エイズ相談・検査の希望者に対して梅毒検査を実施することにより性感染症の予防の推進を図り、またウイルス性肝炎の検査を推進することで、これら感染症のまん延の防止及び発生予防を図りました。

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

	梅 毒	B 型肝炎	C 型肝炎
男	67 (17)	68 (18)	68 (18)
女	38 (7)	39 (7)	39 (7)
合 計	105 (24)	107 (25)	107 (25)

() 内は夜間検査実施分(再掲)